

令和7年度 視覚障がい者サービス協力者「せせらぎの会」

8月研修会を開催しました

1 日 時：令和7年8月27日（水曜日）13時30分から15時30分

2 会 場：岐阜県図書館 研修室

3 参加者：視覚障がい者サービス協力者（22名）
：市町図書館等職員（4名）
：公共施設等に所属する音訳者（19名）

4 演 題：「事例集を発行して見えてきたこと」

5 講 師：遠藤 美枝子 氏

1967年大学在学中より日本点字図書館録音ボランティアとして活動を開始。その後、長年にわたり公共図書館などで音訳に従事。現在は各地の図書館やボランティアグループなどで音訳講師を務める。

これまでに多くの音訳者から寄せられた質問や自著の出版の経験をもとに、原本同一性の保持と聴くだけで内容を正しく理解できるように読むことの重要性についてお話しいただきました。

実際に例文や図を用いて、読みのポイントや注意点について教えていただき、「大変勉強になった」と参加者から多くの声が寄せられました。その他にも「音訳の奥深さと難しさを感じた」「理解しやすい音訳や、著者の思いを汲んだ音訳になるよう、意識していきたい」「自身の読みを思い返し、今後の音訳活動に役立てたい」などの感想がありました。



講義の様子